

# 田辺三菱製薬株式会社

## 2015年度第3四半期 決算概要

(2015年4月1日～2015年12月31日)

2016年2月3日

取締役 執行役員 経理財務部長

田原 永三



田辺三菱製薬

売上高

3,409億円（対前年同期比 +6.6%）

営業利益

919億円（対前年同期比 +44.5%）

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

601億円（対前年同期比 +24.4%）

## トピックス

- ◆ 売上高及び各段階利益は、第3四半期累計として過去最高
- ◆ 通期業績予想を上方修正、売上高及び各段階利益は過去最高の見込み
- ◆ ジレニア、インヴォカナのロイヤリティ伸長
- ◆ MT-1303、TA-8995の契約一時金として176億円受取
- ◆ 早期退職の募集結果に伴う割増退職金・再就職支援費用153億円、特別損失計上
- ◆ 「中期経営計画16-20 Open Up the Future」発表（11月）
- ◆ バダデュスタット アケビア社と開発・販売権に係る協業契約締結（12月）
- ◆ ラジカット/MCI-186 韓国にてALSに関する販売許可取得（12月）
- ◆ レミケード 川崎病に関する適応追加の承認取得（12月）
- ◆ レクサプロ 社会不安障害に関する適応追加の承認取得（11月）

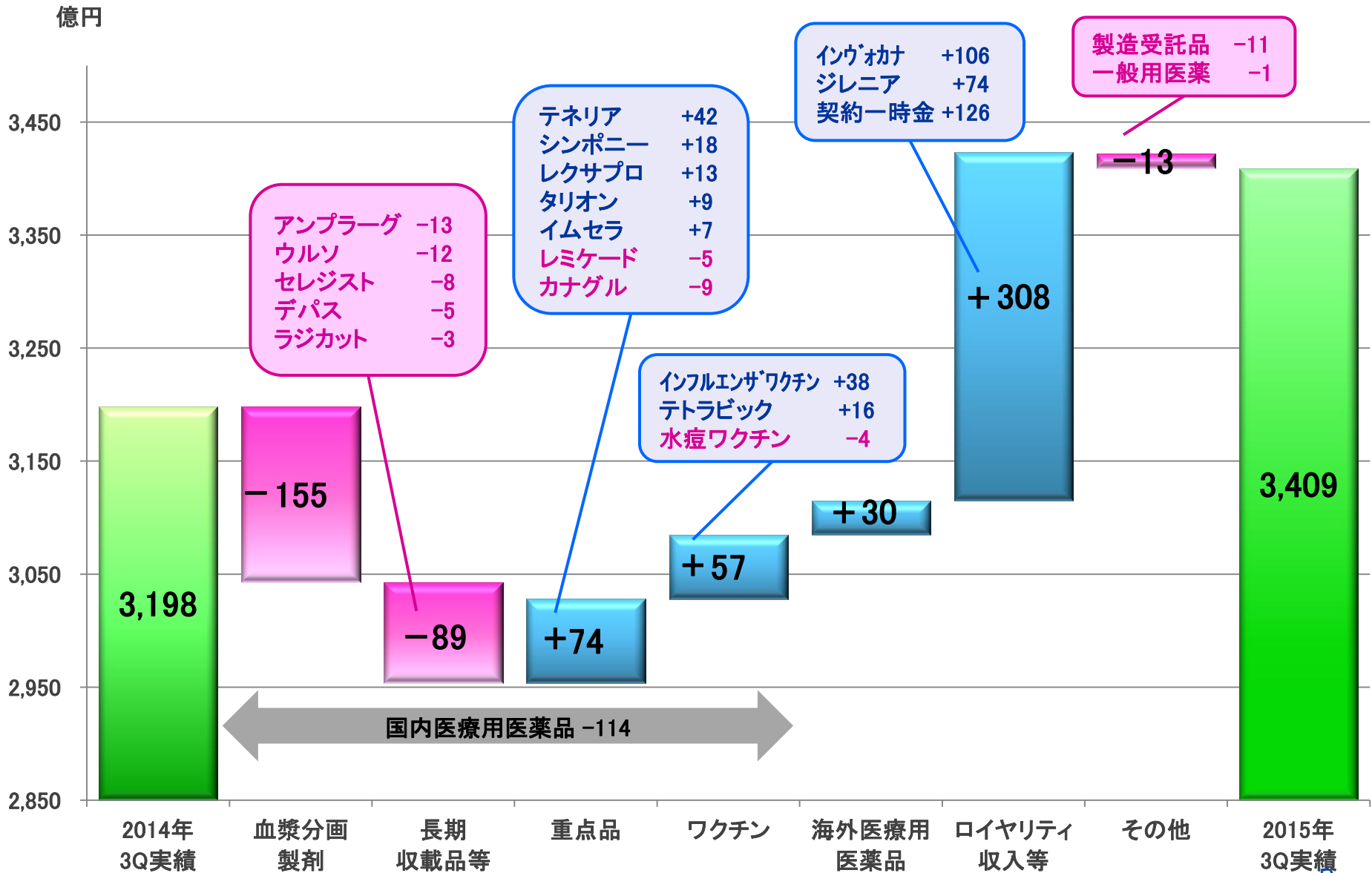
# 2015年度第3四半期 決算概要

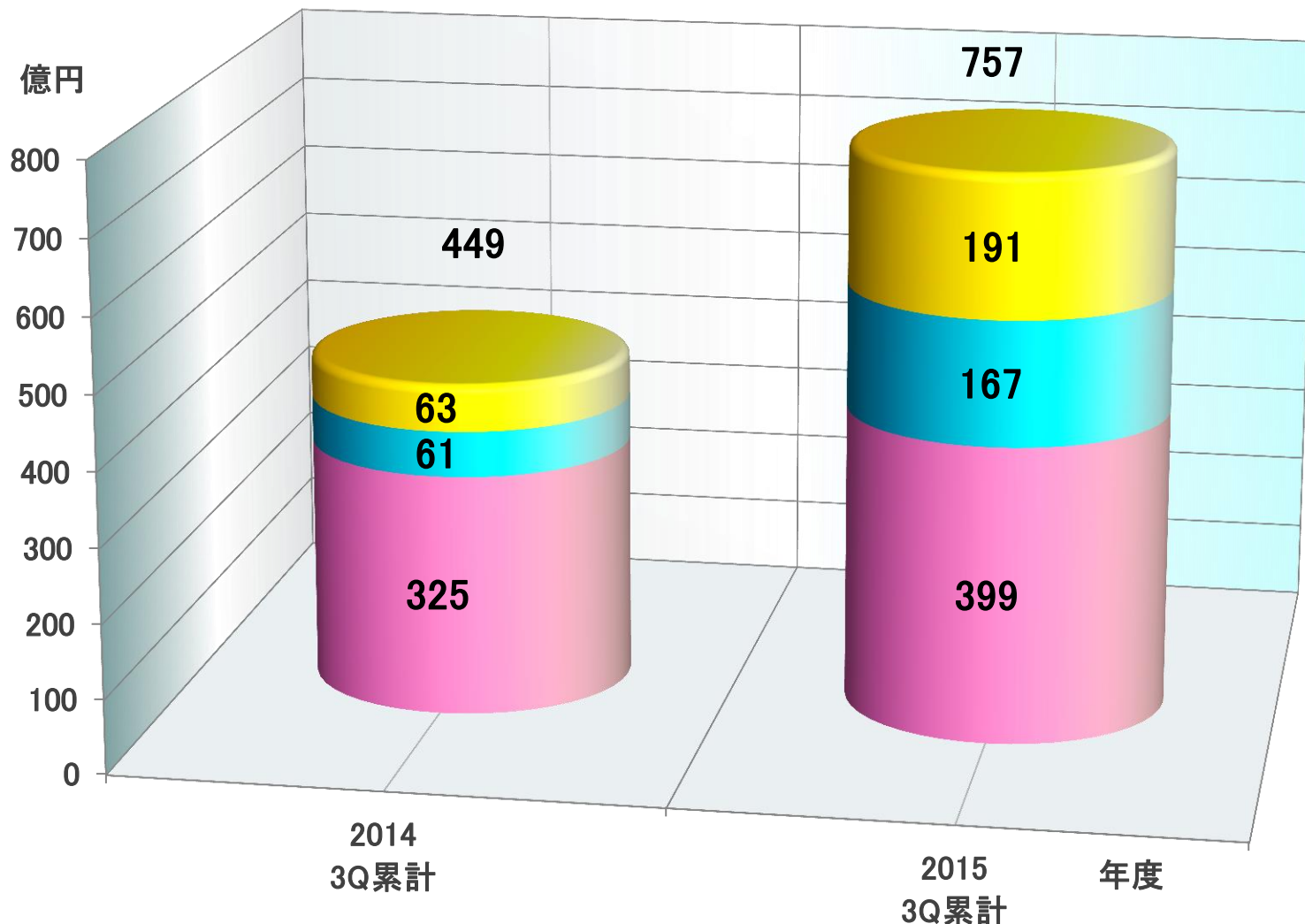
	2015年度	2014年度	増減		※通期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	3,409	3,198	+211	+6.6	4,290	79.5
売上原価	1,208	1,280	-72	-5.6	1,550	78.0
売上原価率	35.4%	40.0%			36.1%	
売上総利益	2,201	1,918	+283	+14.8	2,740	80.3
販管費	1,282	1,282	0	0.0	1,820	70.4
営業利益	919	636	+283	+44.5	920	99.9
経常利益	920	641	+279	+43.5	910	101.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	601	483	+118	+24.4	530	113.4

※通期予想:2015年度第3四半期決算発表時(2016年2月3日)公表

# 売上高の増減

## 【2015年度 第3四半期 決算概要】





■ ジレニア     
 ■ インヴォカナ/インヴォカメット     
 ■ その他(契約一時金等)

## 【2015年度 第3四半期 決算概要】

	2015年度	2014年度	増減		※通期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	3,409	3,198	+211	+6.6	4,290	79.5
売上原価	1,208	1,280	-72	-5.6	1,550	78.0
売上原価率	35.4%	40.0%			36.1%	
売上総利益	2,201	1,918	+283	+14.8	2,740	80.3
販管費	1,282	1,282	0	0.0	1,820	70.4
研究開発費	503	481	+22	+4.5	740	67.9
人件費	348	348	0	-0.1	470	74.0
のれん償却額	79	81	-2	-2.6	105	75.1
その他	353	372	-19	-5.1	505	69.9
営業利益	919	636	+283	+44.5	920	99.9

※通期予想:2015年度第3四半期決算発表時(2016年2月3日)公表

# 営業外損益・特別損益

【2015年度 第3四半期 決算概要】

	2015年度	2014年度	増減		※通期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	919	636	+283	+44.5	920	99.9
営業外損益	1	5	-4		-10	
経常利益	920	641	+279	+43.5	910	101.1
特別利益	129	136	-6			
固定資産売却益	7	119	-112			
投資有価証券売却益	122	11	+112			
関係会社株式売却益	-	6	-6			
特別損失	162	78	84			
構造改革費用	155	66	89			
減損損失	7	10	-3			
投資有価証券評価損	-	1	-1			
その他	-	1	-1			
親会社株主に帰属する四半期純利益	601	483	+118	+24.4	530	113.4

※通期予想：2015年度第3四半期決算発表時(2016年2月3日)公表

# 2015年度 業績予想

## (平成28年3月期)



# 2015年度 通期業績予想修正

## 売上高、売上総利益、営業利益

	2015年度				2014年度		
	修正予想	※前回予想	増減		実績	※※増減	
	億円	億円	億円	%	億円	億円	%
売上高	4,290	4,180	+110	+2.6	4,151	+139	+3.3
売上原価	1,550	1,500	+50	+3.3	1,696	-146	-8.6
売上原価率	36.1%	35.9%			40.9%		
売上総利益	2,740	2,680	+60	+2.2	2,455	+285	+11.6
販管費	1,820	1,860	-40	-2.2	1,784	+36	+2.0
研究開発費	740	760	-20	-2.6	696	+44	+6.3
人件費	470	470	-	-	468	+2	+0.5
のれん償却額	105	105	-	-	109	-4	-3.8
その他	505	525	-20	-3.8	511	-6	-1.2
営業利益	920	820	+100	+12.2	671	+249	+37.0

※ 前回予想:2015年度第2四半期決算発表時(同10月30日)公表値

※※2014年度の増減は修正予想との比較

# 2015年度 通期業績予想修正

## 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

	2015年度				2014年度		
	修正予想	※前回予想	増減		実績	※※増減	
	億円	億円	億円	%	億円	億円	%
営業利益	920	820	+100	+12.2	671	+249	+37.0
営業外損益	-10	-10	-	-	5	-15	-
経常利益	910	810	+100	+12.3	677	+233	+34.5
特別損益	-105	-135	+30	-	-50	-55	-
親会社株主に帰属する当期純利益	530	460	+70	+15.2	395	+135	+34.2

※ 前回予想:2015年度第2四半期決算発表時(同10月30日)公表値

※※2014年度の増減は修正予想との比較

# 開発パイプラインの進捗

A decorative horizontal bar with a blue-to-teal gradient, starting as a solid blue line on the left and fading into a light teal on the right.

# 開発パイプラインの進捗状況

(2015年10月30日以降の進捗)

New Value Creation



	治験コード/製品名 (導出先)	機序(予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認
自社開発	TA-650/レミケード	抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤 (難治性川崎病)	日本					
	TA-650/レミケード	抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤 (クローン病、潰瘍性大腸炎)	台湾					
	MCI-186/ラジカット	フリーラジカル消去剤 (ALS)	韓国					
導出	TA-7284 (ヤンセンファーマシューティカルズ)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤 [徐放性])	米国					
	MT-4580 (協和発酵キリン)	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本					

# *New **Value** Creation*

「新たな価値を創造しつづける企業」へ

# 補足資料



# セグメント別売上高

	2015年度	2014年度	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	3,409	3,198	+211	+6.6
（うち海外売上高）	(950)	(562)	(388)	+69.1
医薬品事業	3,406	3,194	+212	+6.6
国内医療用医薬品	2,407	2,520	-114	-4.5
ロイヤリティ収入等	757	449	+308	+68.6
海外医療用医薬品	198	168	+30	+17.9
一般用医薬品	31	32	-1	-4.0
製造受託品	15	26	-11	-42.4
その他	3	3	0	-14.7

# 国内医療用医薬品 重点品、ワクチン売上高

New Value Creation

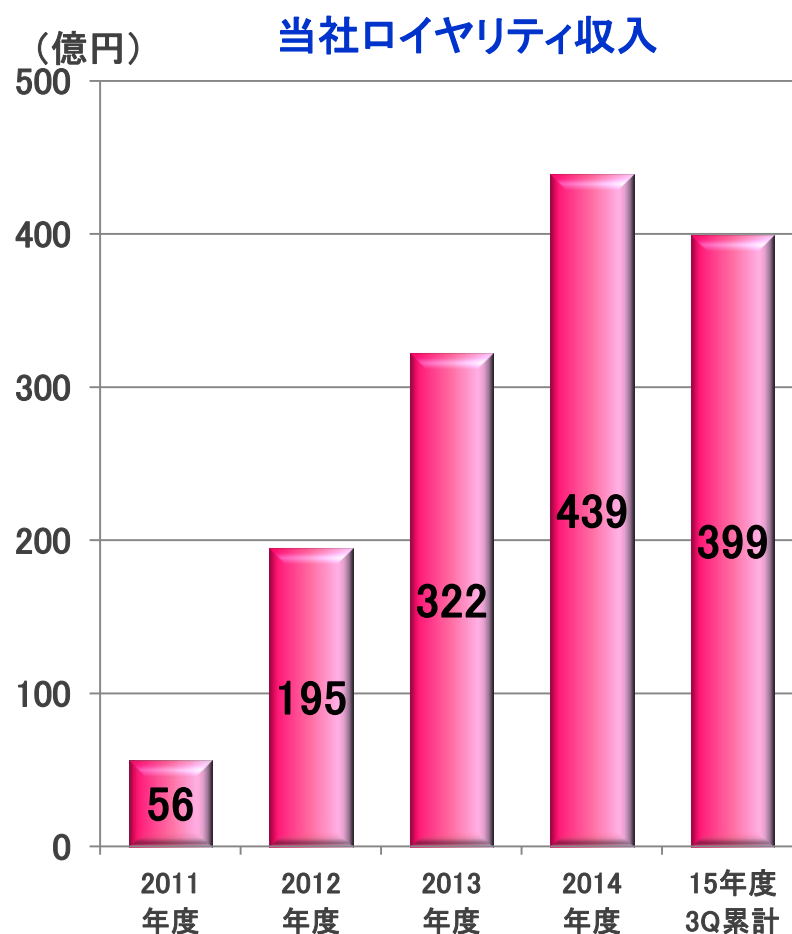
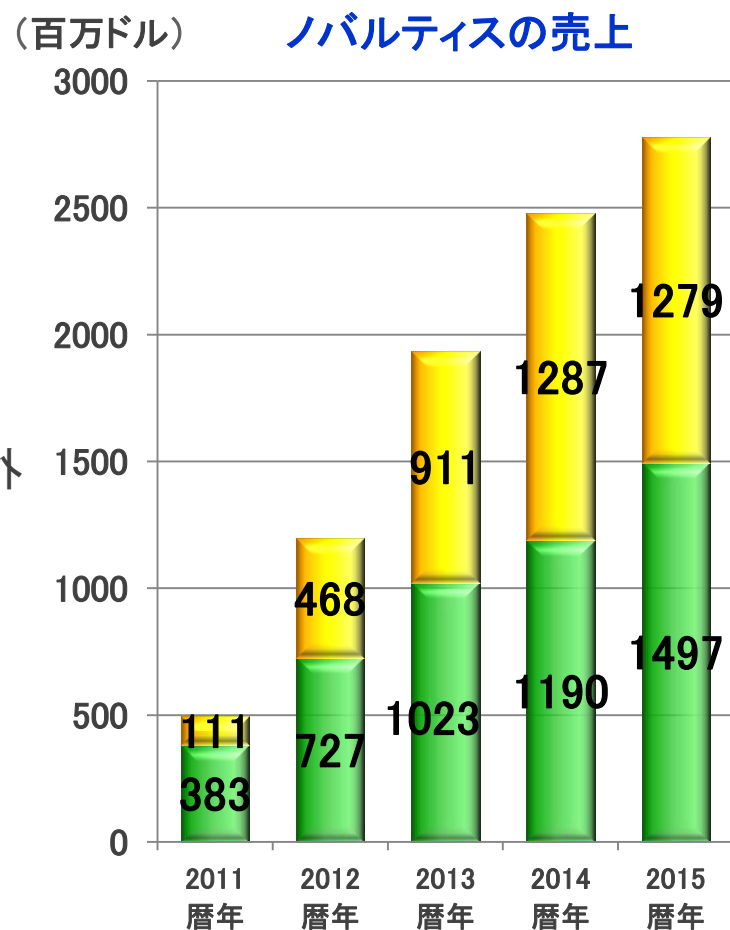


【2015年度 第3四半期 補足資料】

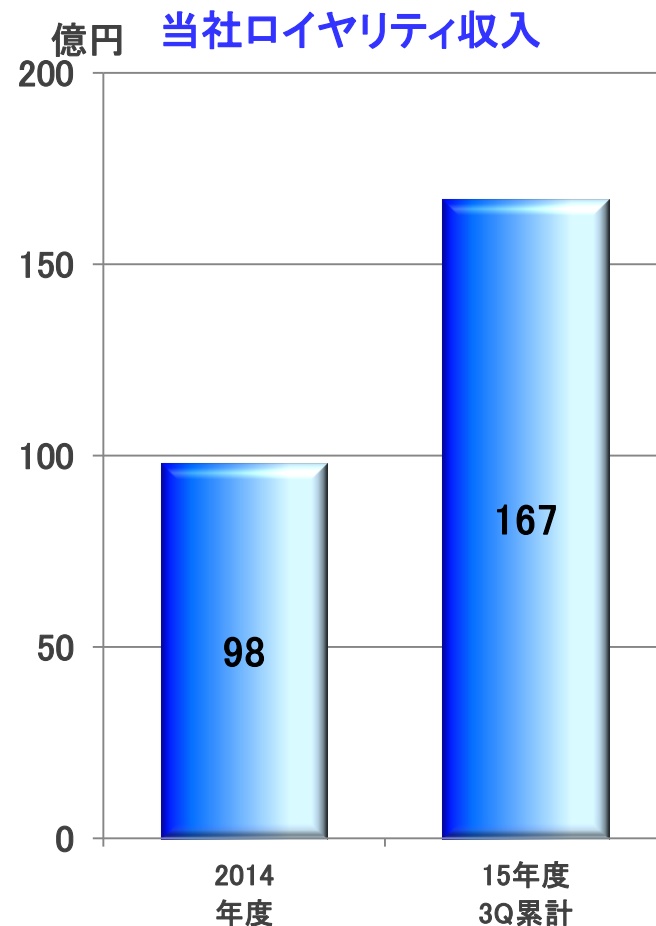
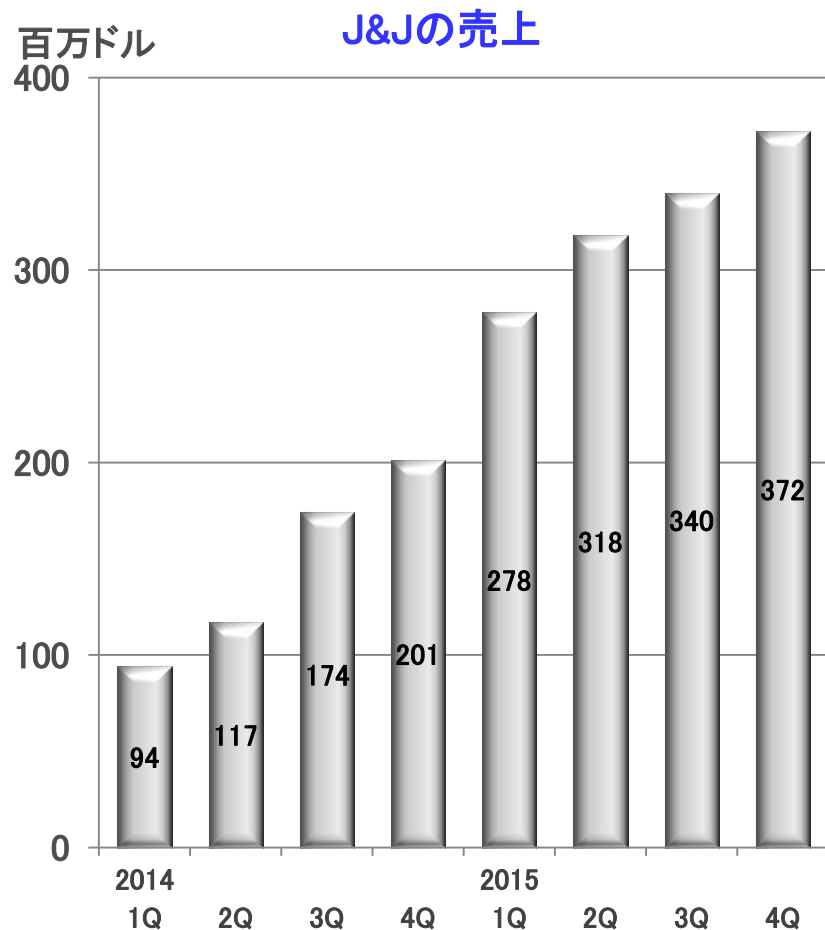
	2015年度	2014年度	増減	
	億円	億円	億円	%
レミケード	540	545	-5	-0.9
タリオン	112	103	+9	+8.3
シンポニー	98	80	+18	+23.0
レクサプロ	74	61	+13	+20.8
テネリア(旧スキーム)	37	46	-9	-19.9
テネリア(新スキーム)	73	非開示	-	-
イムセラ	32	24	+7	+30.6
カナグル	2	11	-9	-81.7
<b>重点品合計</b>	<b>967</b>	<b>893</b>	<b>+74</b>	<b>+8.3</b>
インフルエンザ	121	82	+38	+46.8
テトラビック	72	57	+16	+27.4
水痘ワクチン	50	54	-4	-8.2
<b>ワクチン合計</b>	<b>315</b>	<b>259</b>	<b>+57</b>	<b>+21.8</b>
<b>重点品・ワクチン合計</b>	<b>1,282</b>	<b>1,151</b>	<b>+131</b>	<b>+11.4</b>



- ◆ ノバルティスの2015年売上高は2,776百万ドル(前年同期比+12%)
- ◆ 当社第3四半期累計のロイヤリティ収入は399億円



- ◆ J&Jの2015年売上高は1,308百万ドル(前年同期586百万ドル)
- ◆ 米国において、2型糖尿病市場で6.5%、うち内分泌医で13%の市場シェアを獲得
- ◆ 当社2015年度第3四半期累計のロイヤリティ収入は167億円



## 注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。